

## ◎ナロキソン塩酸塩静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ナロキソン塩酸塩 Naloxone Hydrochloride 【分類】 麻薬拮抗剤

【単位】 ◎0.2mg/A [1mL]

【常用量】 1回 0.2mg. 効果不十分なときには2～3分間隔で1～2回追加

【用法】 静注

【透析患者への投与方法】 常用量 (3,12)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (3,12)

【その他の報告】 腎不全患者ではオピオイドの作用が遷延することがある拮抗薬の使用後の呼吸抑制の再発に注意 (Hanes SD, et al: Pharmacotherapy 1999 PMID: 10417042)

【特徴】 オピオイド受容体の完全拮抗薬 (競合拮抗).

【主な副作用・毒性】 血圧上昇, 悪心・嘔吐, 頻脈, 肺水腫など

【吸収】 初回通過効果は認められない (11)

【F】 95% (11)

【代謝】 肝でN脱アルキル化体および6-ケト基の還元体となり、主としてグルクロン酸抱合により排泄される (11) 主代謝物の3-ナロキソングルクロナイドは活性を有しないが、6-ナロキソングルクロナイドは活性を有すると思われる (11)

【排泄】 すべて代謝物として70%が尿中排泄 (11) 尿中回収率65% (1)

【t1/2】 1～1.5hr (11) 64min (1)

【蛋白結合率】 50% [Alb] (11)

【Vd】 5L/kg (11)

【MW】 399.9 (327.4)

【透析性】 低いと思われる (5)

【O/W 係数】 12.8 [1-オクタノール/水系, pH7.4] (1)

【効果発現時間】 静注: 1～2min、皮下注: 2～5min (11)

【更新日】 20230509

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。